

平成 16 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	茨城県立医療大学	整理番号	1-1-012
応募テーマ	主として総合的取組に関するテーマ		
取組名称	自己発展性を備えた医療専門職業人の育成		
申請単位	大学全体		
申請担当者	阿部 帥		
<p>(取組の概要)</p> <p>本学では、急激に変化する医療現場で広く活躍できる人材を輩出するために、2000 年度より自己発展性を備えた医療専門職業人の育成に取組んでいる。学生も含めた全学の構成員が一丸となり取組む「教育システムの刷新とカリキュラムの抜本的改革」を軸とした教育改革は、論理的基盤の形成、教育改革を強力に推進する組織体制、学生の教育改善への参加のしくみの構築、「全学 FD 研修会」を軸とした教職員の資質開発、学内外からの評価の活用、の 5 つの全学的な取組によって推進され、その特色は以下の 3 点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療人育成のための先進的なカリキュラムの導入 2) 大学として責任の持てる教育の実現 3) より良い教育の創造への学生の積極的参画 <p>全学の構成員が積極的に取組に参加したことで、教育の質的改善が、社会的評価の向上、学生の能動的学習の増加、授業満足度の向上といった具体的な成果により示されている。今後もこの取組を通して、一生涯地域社会で活躍し続けられる医療専門職業人を育成する。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、茨城県立医療大学の教育目標である「自己発展性を備えた医療人の育成」を達成するために、既に 3 年以上にわたり実施され、スモールグループによる問題解決型学習や臨床実習前の客観的臨床能力評価（OSCE）に実施されているように大きな成果を挙げています。</p> <p>現在、大学には社会・経済構造・産業構造の急激な変化に対応できる特色ある教育が求められおり、この取組の「学生懇談会におけるカリキュラムに対する意見聴取」や「全学 FD（Faculty Development）研修会を軸とした教職員の資質開発」という点はこうした社会の多様な要請に十分応える優れた取組であると認められます。特に前者の「学生懇談会におけるカリキュラムに対する意見聴取」については先進性も認められ今後学生の授業に対する満足度、教育課程に対する評価、厳正な教育評価制度の導入、学生の教育に対する積極的参画が求められつつあることを鑑みれば、この取組は他の大学、短期大学の参考になりうる優れた事例であると言えます。</p> <p>また、この取組にはスキルラボやティーチングアシスタント整備という課題も認められますが、これを克服すれば更なる発展が期待されます。</p>			